

ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

TARO 2020 Round.3 AUTOPOLIS

TARO JSB1000 **44** **TARO SEKIGUCHI**



SANMEI Team TARO PLUSONE

TARO SEKIGUCHI RACE REPORT

2020 MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ 第3戦
SUPERBIKE RACE in KYUSHU

大分県・オートポリス (1周 4.674km)

クラス: JSB1000 マシン: BMW S1000RR タイヤ: BRIDGESTONE

2020年9月19日 (土) 天候: 晴れ コース: ドライ

レース1 予選: 12番手 (タイム: 1分50秒269) 決勝: 10位

2020年9月20日 (日) 天候: 晴れ コース: ドライ

レース2 予選: 11番手 (タイム: 1分50秒643) 決勝: 10位

観客動員数: 6,200人 (2日間合計)



A-big Motorrad



ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

T4RO 2020 Round.3 AUTOPOLIS

T4RO BMWの素性のよさを感じたオートポリス



8月に開幕した全日本ロードレース選手権。その後、第2戦岡山は、事前テストは行われたものの、本番は台風10号の影響を受け中止。今回の第3戦オートポリスは、実質2戦目のレースとなった。事前テストはなく、レースウィークに初めてBMW S1000RRをオートポリスで走らせることになっていたが、金曜日の走行が悪天候のため中止となってしまう。全くデータのないところからのスタートだっただけに、これは痛かった。ただ、いつもと違い、土曜日の午前中に走行があったことは大きかった。



土曜日は、天候に恵まれドライコンディション。岡山テストの足回りからスタートし、いつものように周回を重ねバイクの状態を把握して行く。公式予選でも決勝を見据えながらペースを上げ、セッション終盤に1分50秒前半半をマーク。昨年記録した1分49秒737が自己ベストだが、一発タイム

だったことを考えると、BMWのポテンシャルの高さを改めて感じさせた。



そして16時過ぎにレース1がスタート。オープニングラップを14番手で終えると2周目に1台、3周目に1台と前を行くライダーをパス。さらに前にいきたいところだったが、亀井選手と秋吉選手とのバトルになる。この2台をセクション後半の上り区間でパス。ラスト2周を切った14周目にアクシデントが発生し赤旗が提示されレースは中断。そのまま12周終了時点でレース成立となり10位という結果となった。日曜日朝のウォームアップ走行では、マシンは、ほぼいじらず、周回を重ねたタイヤのフィーリングをつかむことに専念しレース2に臨んだ。

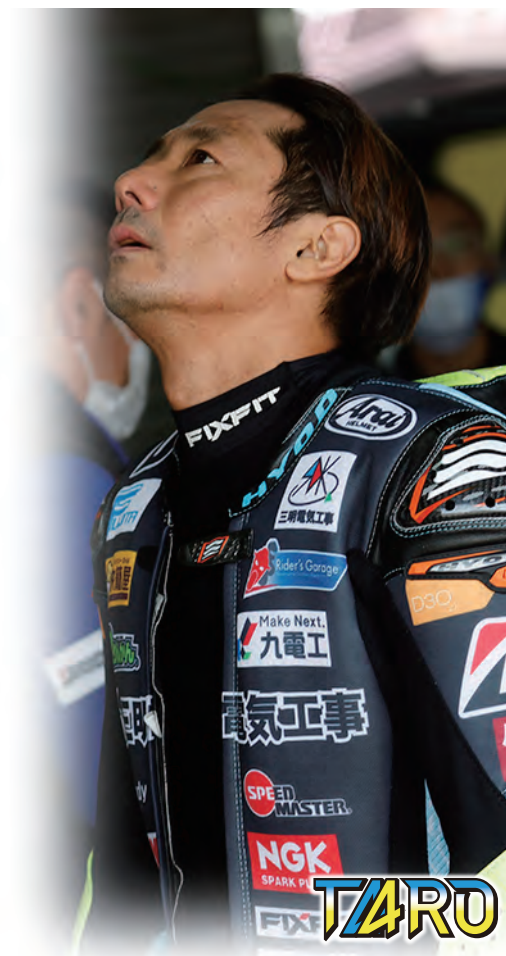


オープニングラップを13番手で終えると2周目に前で転倒があり12番手に浮上。3周目に加賀山選手、4周目に秋吉選手をかわすと、淡々と周回を重ねて行く。レース終盤に津田選手が背後に迫りバトルになり最終ラップの1コーナーでかわされるが、最終セクションで仕掛けようと思っていたところイエローフラッグが提示されており万事休す。レース1と同じく10位という結果となった。



■関口太郎コメント

「いつも応援いただき、ありがとうございます。今回のオートポリスラウンドは事前テストがなく、金曜日の走行が天候不良で走れずに、厳しい戦いとなりましたが、限られた時間の中でチームのみんながいい仕事をしてくれました。マシンセットとしては、コースに合わせてバネレートに合わせてくらしでしたが、BMW S1000RRの素性のよさをあらためて感じました。次戦のツインリンクもてぎも全力で行きますので、応援よろしくお願いいたします」



このリリースへのお問い合わせは、
下記メールアドレスまでお願いいたします。
E-mail : tarosekiguchi@gmail.com